



◇アドルフ・ヒットラー◇

我 カ ハ 鬪 爭
(22)

【縮譯】

マイン・カンフ

かくて、一九一七年三月初め

私は再び原隊へ復歸した。

前線では再び元氣を取戻すこ

とが出来た。ロシアとイタリア

の崩壊が傳へられたので、愈々

勝利も近と思はれた。

すると大事件が起つた。ドイ

ツ側の軍需工場が一齊にストラ

イキに入つたので、それが成功

すれば軍隊は敗北せねばならぬ

がつた。勿論、我々の計畫した

攻撃は中止されたので、聯合國

側は救はれ、國際資本がドイツ

を捨にした。

しかしながらこのストライキ

は間もなく解決したので、ドイ

ツを内體的に弱めることにはな

らなかつた。だが、それが與へ

した精神的損害は大きかつた。も

しも、鉄後があつて平和に暮し

てゐる人々が勝利を欲しなかつた

たらどうして前線の將兵が死

に面し、困苦を克服して戰ひ續

けることができよう。

また、このことが長い間巨大

な敵軍を向ふに廻し、支離滅裂

氣息まさに絶えなんとしてゐる

たらどうして前線の將兵が死

ばかり大きかつたであらう。

聯合國側は疲勞し、落膽した兵士

のだ」といふ激動が興へられ

たちは、ドイツは革命の前

夜にある!勝利は既に聯合國の

らば、ドイツの戰闘力は問題に

ならなくなる。

イギリス、フランス、アメリカ

等の新聞は猶豫しなかつた。

機會は捉へられた。前線の兵士

たちは、「ドイツは革命の前

出來た。背後に革命が起きたな

も。だが、少しがれは死に直面

し、しかも彼等は死に直面

しつつ、フランダースの野で

「世界のあらゆるの上のド

イツよ」を口ずさみながら戰線

に出で行つたのであつた。

ところが、いまや既後の人々

の叫びは、あきらかに「普通選

舉萬歳」といふことに變つたや

うに思はれた。兵士たちは、エ

トベート、シャイデマン、バーティ

新しい戰争の目的に驚くばかり

と/orが、いまや既後の人々

の叫びは、あきらかに「普通選

舉萬歳」といふことに變つたや

うに思はれた。兵士たちは、エ

トベート、シャイデマン、バーティ

が唱へた

政治論のみを戰はせてゐた。國

は、僅か數百ヤード前方の砲弾穴

に前进することが出来た

であった。

憂國の熱涙

さて、一九一八年の八月、三

度で我々の本部所在地だつたか

ミンの僻窓が、今まで戦場とな

つた。しかししながら兵士達は、

政治論のみを戰はせてゐた。國

は、僅か數百ヤード前方の砲弾穴

に前进することが出来た

であった。

イギリスの攻撃が開始された。

多額の戦友が斃れた神聖な土地を

再び踏んだ。

一九一七年六月、我々は、幾

多の敵軍を向ふに廻し、支離滅裂

氣息まさに絶えなんとしてゐる

たらどうして前線の將兵が死

ばかり大きかつたであらう。

聯合國側は疲勞し、落胆した兵士

のだ」といふ激動が興へられ

たちは、ドイツは革命の前

夜にある!勝利は既に聯合國の

らば、ドイツの戰闘力は問題に

ならなくなる。

イギリス、フランス、アメリカ

等の新聞は猶豫しなかつた。

機會は捉へられた。前線の兵士

たちは、「ドイツは革命の前

